

科目名 (英)	ホスピタリティⅡ (HospitalityⅡ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	藤村真仁
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 金曜・2限
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	日本のサービス産業の現状やホスピタリティ重要性について説明でき、自分の生活において求められる行動を説明できる。						
到達目標	テキストに記載されている各項目について 1) ホスピタリティの重要性、歴史、語源について説明できる →ホスピタリティⅠでの学びをより具体的に 2) 個人と個人、個人と地域社会、組織と顧客、組織と社員(従業員)、組織と地域社会など各領域で実践されているホスピタリティについて考え自分の意見が言える →ホスピタリティⅠでの学びをより具体的に 3) 組織と顧客、組織と社員のホスピタリティについて考え自分の意見が言える 4) 自分の経験したホスピタリティについて振り返り、考え、説明することができる 5) 他人の経験したホスピタリティの説明を聞き、自分の意見を説明することができる						
評価方法と基準	1) 提出物 2) 振り返りテスト						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ホスピタリティについてのディスカッション ホスピタリティⅠでの振り返り	学んだことを振り返る
2		演習	ホスピタリティについてのディスカッション ホスピタリティⅠでの振り返り	学んだことを振り返る
3		演習	組織と顧客のホスピタリティ	学んだことを振り返る
4		演習	組織と顧客のホスピタリティ	学んだことを振り返る
5		演習	組織と社員のホスピタリティ	学んだことを振り返る
6		演習	組織と社員のホスピタリティ	学んだことを振り返る
7		演習	ホスピタリティの実践	学んだことを振り返る
8		演習	ホスピタリティの実践	学んだことを振り返る
9		演習	ホスピタリティの実践	学んだことを振り返る
10		演習	各産業におけるホスピタリティの実践	学んだことを振り返る
11		演習	各産業におけるホスピタリティの実践	学んだことを振り返る
12		演習	各産業におけるホスピタリティの実践	学んだことを振り返る
13		演習	ホスピタリティ演習	学んだことを振り返る
14		演習	ホスピタリティ演習	学んだことを振り返る
15		演習	まとめ	学んだことを振り返る
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
ホスピタリティ・コーディネータ教本				

科目名 (英)	キャリアプランニングⅡ (スポーツマネジメントⅠ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	上野唯
	(Sports Management I)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 木曜4限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツのビジネス的な側面を学び 主にフィットネスクラブのマネジメントについて学習する。 資格取得にあたってはフィットネスクラブマネジメント検定3級合格を目指す。						
到達目標	①フィットネス産業について説明できる ②クラブ運営について把握している ③顧客マネジメントについて実践できる						
評価方法と基準	1)出席数75% 2)定期テスト25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	フィットネス産業について説明できる	ノートをとめる
2		講義	フィットネス産業について説明できる	ノートをとめる
3		講義	健康づくりについて説明できる①	ノートをとめる
4		講義	健康づくりについて説明できる②	ノートをとめる
5		講義	店舗運営・フロント業務について実践できる	ノートをとめる
6		講義	店舗運営・ジム。スタジオ。プール運営について実践	ノートをとめる
7		講義	店舗運営・イベント企画について企画できる	ノートをとめる
8		講義	総合クラブの施設内容について説明できる	ノートをとめる
9		講義	顧客対応について実践できる①	ノートをとめる
10		講義	顧客対応について実践できる②	ノートをとめる
11		講義	組織・業務分担の考え方について説明できる	ノートをとめる
12		講義	コミュニケーションの重要性について答えられる	ノートをとめる
13		講義	学習した内容について答えられる	ノートをとめる
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	
15		講義	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
一般社団法人日本フィットネス産業協会:フィットネスクラブマネジメント 公式テキスト基礎				

科目名 (英)	キャリアプランニング I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	太田充保
	(Career Panning I)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 火曜1限
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科						
教員の略歴	仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	就職活動について目的や方法が説明できる。 自己分析ができ、自分の理想的な就職を見出すことができる。 求人票や就職ナビ、その他から就職の情報を得ることができる。 企業に電話を正しいマナーでかけることができる。 インターンシップに参加する上で必要な準備ができる。						
到達目標	就職活動の概要が説明できる。 自分の理想的な就職先を自分で見つけることできる。 見つけた就職先についてあらゆる手段を利用して情報収集を行ったり、電話や手紙などで連絡をとり見学や実習のお願い・お礼などを行うことができる。 インターンシップに必要な準備をすることができる。						
評価方法と基準	1) 出席状況60% 2) 提出物40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	就職活動の流れが説明できる	学んだことを振り返る
2		講義	自己分析ができる	学んだことを振り返る
3		講義	自己分析ができる	学んだことを振り返る
4		演習	業界研究ができる	学んだことを振り返る
5		演習	業界研究ができる	学んだことを振り返る
6		演習	求人票、就職ナビを見て就職活動ができる	学んだことを振り返る
7		演習	求人票、就職ナビを見て就職活動ができる	学んだことを振り返る
8		講義	会社への電話で問い合わせることができる	学んだことを振り返る
9		講義	会社への電話で問い合わせることができる	学んだことを振り返る
10		講義	インターンシップの流れ、手順について説明ができる	学んだことを振り返る
11		講義	インターンシップの流れ、手順について説明ができる	学んだことを振り返る
12		演習	インターンシップのノートを正しく書くことができる	学んだことを振り返る
13		演習	インターンシップのノートを正しく書くことができる	学んだことを振り返る
14		演習	インターンシップの準備(持ち物、身だしなみ、身構え、心構え)ができる	学んだことを振り返る
15		演習	インターンシップの準備(持ち物、身だしなみ、身構え、心構え)ができる	学んだことを振り返る
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	パソコンスキル (コンピュータ I) (Computer I)	必修 選択	必修・選択必修・選択 等	年次	2	担当教員	阿部 かざみ
		授業 形態	講義・演習・ 実習 等	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 金曜・3限
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科						
教員の略歴	Word・Excel・PowerPointの操作方法を専門学校・PCスクール・企業研修・就職支援などで指導						
授業の学習内容	現代では業種・職種を問わず社会生活に必須となっているパソコンのスキルが求められています。シェアが90%を超えているWindows系のOfficeを実技を中心として学び、職場での活用技術を身に着ける。 業務の報告書の作成、データ集計・集計結果の分析などに必要なパソコンスキルを学ぶ。						
到達目標	Word・Excel・PowerPointの基本操作、効率の良い使用方法、また、実務例に基づいたレポート・資料などの作成ができるレベルを目指す						
評価方法と基準	実技試験70% 出席点15% 平常点15%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	SNSを使用する上での注意点を学ぶ	
2		実習	効率のよい入力方法を覚える	準備学習 Windowsの基本操作(日本語入力・マウス操作・キーボード操作)やファイル・フォルダーの扱い(作成・移動・コピーなど)ができる方が望ましい 学習課題 積み重ね授業になるので、授業終了後は復習をし、確実に次の時間に活かせることが望ましい
3		実習	Wordの基本編集機能を操作できる	
4		実習	ビジネス文書の基本ルールを覚える	
5		実習	表を作成・編集できる	
6		実習	グラフィックスを挿入できる	
7		実習	印刷の設定ができる	
8		実習	四則演算ができる	
9		実習	簡単な関数や、参照方法ができる	
10		実習	表を編集し、印刷設定ができる	
11		実習	円グラフ・棒グラフを作成できる	
12		実習	複合グラフを作成できる	
13		実習	シートの操作やシート間の計算ができる	
14		試験	実技試験	
15		実習	試験解説	
準備学習 時間外学習			パソコン操作に慣れるためにも時間外にも報告書・課題などパソコンを使用して作成してほしい	
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版社 Word2016・Excel2016				

科目名 (英)	パソコンスキル (コンピュータⅡ) (ComputerⅡ)	必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	2	担当教員	阿部 かざみ
		授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜・4限
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科						
教員の略歴	Word・Excel・PowerPointの操作方法を専門学校・PCスクール・企業研修・就職支援などで指導						
授業の学習内容	プレゼンテーションツールのPowerPointをの内容の組み立て方、作成手順、資料の探し方などを学習し、他人に自分の考えを伝える効果的な方法を学ぶ。 また、学会での発表用のみではなく、提案事項・会議用ツール・ポスター作成などに活用できる必要なパソコンスキルを学ぶ。						
到達目標	PowerPointの基本操作、プレゼンテーションの流れを自分で組み立て、見栄えのするスライドを作成し、人にわかりやすく伝わる発表技術を身に付け、資料作成・学会発表用ツールとして使用できるレベルを目指す						
評価方法と基準	実技試験30% 課題提出40% 出席点15% 平常点5%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	スライドの基本操作やテーマを設定できる	準備学習 Word・Excelで行った、グラフィックス機能、表作成、グラフ作成などができる方が望ましい 学習課題 積み重ね授業になるので、授業終了後は復習をし、確実に次の時間に活かせることが望ましい
2		演習	スライド内で表やグラフを活用できる	
3		演習	Web上の画像やグラフィックスを扱える	
4		演習	アニメーション効果をかけられる	
5		演習	プリントを参考にスライドを作成する	
6		演習	自己紹介PPを作成する	
7		演習	自己紹介PPを作成する	
8		演習	プレゼンテーションを発表できる	
9		演習	プレゼンテーションを発表できる	
10		演習	プレゼンテーションを発表できる	
11		演習	PPのプレゼン以外の使用方法を学習する	
12		演習	その他のPP機能を学ぶ	
13		演習	課題作品作成	
14		試験	課題作品作成	
15		演習	課題作品作成	
準備学習 時間外学習			パソコン操作に慣れるためにも時間外にも報告書・課題などパソコンを使用して作成してほしい	
【使用教科書・教材・参考書】 滋慶出版社 PowerPoint2016				

科目名 (英)	運動学 (スポーツバイオメカニクス)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	沼田尚
	(Sports Biomechanics)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜1限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	山形大学大学院教育学研究科修了、健康運動指導士 JATI-ATI						
授業の学習内容	<p>運動やスポーツの指導を効果的に行うためには、運動と力の働きの関係を理解していなければならない。この授業ではその理解のため、日本スポーツ協会公認「スポーツ指導者」および日本トレーニング指導者協会「トレーニング指導者」の養成カリキュラムに沿い、以下について実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイオメカニクスとは ・バイオメカニクスを学習をする意義について ・身体運動を力学的に検証するスポーツバイオメカニクスの基礎 ・スポーツ、運動、トレーニング動作のバイオメカニクス 						
到達目標	<p>スポーツバイオメカニクスや、その学習の意義について説明ができる。 スポーツバイオメカニクスの観点から運動・スポーツし指導ができる。 日本スポーツ協会公認「アスレティックトレーナー」、日本トレーニング指導者協会「トレーニング指導者」の資格検定で出題されるようなスポーツバイオメカニクスに関する問題を解くことができる。</p>						
評価方法と基準	1) 筆記試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	力の合成と分解について説明できる	小テスト
2		講義	生体におけるテコの原理、重心の求め方について説明できる	小テスト
3		講義	重心の速度・加速度について説明できる	小テスト
4		講義	床反力と重心加速度とは何かについて説明できる	小テスト
5		講義	床反力作用(GOP)とは何かについて説明できる	小テスト
6		講義	関節モーメントの筋活動について説明できる	小テスト
7		講義	関節モーメントのパワーについて説明できる	小テスト
8		講義	ジャンプ動作について説明できる	小テスト
9		講義	立ち上がりのバイオメカニクスについて説明できる	小テスト
10		講義	歩き始めのバイオメカニクスについて説明できる	小テスト
11		講義	重心と床反力作用について説明できる	小テスト
12		講義	歩行の観察 OGIGの方法について説明できる	小テスト
13		講義	重心の動きを滑らかにする機能について説明できる	小テスト
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	
15		講義	学習した内容の問題に答えられる	
16				
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
公認アスレティックトレーナー専門科目テキストスポーツ科学 リファレンスブック				

科目名 (英)	社会学 (スポーツ社会学) (Sociology of Sports)		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	沼田 尚
	学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 金曜2限
教員の略歴	山形大学大学院教育学研究科修了、健康運動指導士 JATI-ATI							
授業の学習内容	スポーツ指導者は「コーチング」について正しく理解することで、スポーツ実践者(プレーヤー)のニーズを満たす支援ができる。この授業では、スポーツが人々や社会にどのような影響をもたらすのか、その意義と価値について考える。また、スポーツ権について理解し、スポーツ権を害さないスポーツ指導に必要な知識を身につける。さらにスポーツに関する法令やルール、フェアプレーについて学ぶ。							
到達目標	リファレンスブックに記載される「コーチングを理解しよう」の6～13の内容について説明ができる。 そして、日本スポーツ協会のオンラインテストに合格できる。							
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> 筆記試験(80%)…各項目における、知識の理解度を評価する。 受講態度(20%)…出席状況と授業への取り組む姿勢・態度など。 課題レポート…適宜レポートの提出を求めることもある。 							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	スポーツの意義と価値① トレーニング指導者の役割	テキストを読んで内容をまとめておくこと
2		講義	スポーツの意義と価値② トレーニング指導者の役割	テキストを読んで内容をまとめておくこと
3		講義	スポーツの意義と価値③ トレーニング指導者の役割	テキストを読んで内容をまとめておくこと
4		講義	スポーツの価値を守るスポーツ権	テキストを読んで内容をまとめておくこと
5		講義	スポーツの自治 ガバナンスとコンプライアンス	テキストを読んで内容をまとめておくこと
6		講義	暴力・ハラスメントの根絶①	テキストを読んで内容をまとめておくこと
7		講義	暴力・ハラスメントの根絶②	テキストを読んで内容をまとめておくこと
8		講義	スポーツのインテグリティ	テキストを読んで内容をまとめておくこと
9		講義	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 ①	テキストを読んで内容をまとめておくこと
10		講義	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 ②	テキストを読んで内容をまとめておくこと
11		講義	スポーツ仲裁	テキストを読んで内容をまとめておくこと
12		講義	スポーツ倫理	テキストを読んで内容をまとめておくこと
13		講義	スポーツ組織のマネジメント トレーニングの運営と情報活用	テキストを読んで内容をまとめておくこと
14		講義	障がい者とスポーツ	テキストを読んで内容をまとめておくこと
15		試験	学習した内容の問題に答えられる	試験に備えて、全ての項目を復習する
準備学習 時間外学習			テキスト及び配布資料を読んで内容をまとめておくこと	
【使用教科書・教材・参考書】				
リファレンスブック トレーニング指導者テキスト実践編				

科目名 (英)	基礎医学 (発育発達)	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	高橋英子 副校長
	(Growth Development)	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 火曜日 2限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科・スポーツマネジメントテクノロジー科						
教員の略歴	山形大学医学部助教、東北大学医学部助教、専門学校教員(平成1年～)、薬学博士、博士(医学)						
授業の学習内容	発育段階に応じた身体の機能的変化や適応について学ぶ。 又、発育段階に応じた身体の機能的変化、性差や加齢に伴う体力の低下を理解し、性・年齢に適した運動についても学習する。						
到達目標	健康・体力づくりや競技力向上を目的とした運動指導を行う際には、対象者の年齢や性別など個人の特性を考慮する必要がある。本講義では、人間の出生から乳幼児期、青少年期、成人期、壮年期と言った時間の経過に伴う発育・発達と加齢による身体的変化を考慮した運動トレーニングのあり方について運動生理学的側面から学ぶ。さらには、アスレティックトレーナーや健康運動実践指導者等の資格取得に向けても、関連問題を解ける力を目標とする。						
評価方法と基準	定期試験(筆記試験)による評価(100%)、60点以上を合格とする						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月11日	講義	オリエンテーション	
2	4月25日	講義	発育・発達の特徴、形態指数、 生理学的年齢について	
3	5月2日	講義	乳児期の発育・発達の特徴	
4	5月9日	講義	乳児期の動作の獲得について	
5	5月16日	講義	幼児期の発育・発達の特徴	
6	5月23日	講義	幼児期の動作の習得について	
7	5月30日	講義	青少年期の発育・発達の特徴	
8	6月6日	講義	青少年期の動作の習熟について	
9	6月13日	講義	発育発達過程とトレーニングの関連	
10	6月20日	講義	発育発達と男女差について	
11	6月27日	講義	成人期と壮年期の形態と体力の変化	
12	7月4日	講義	老化、高齢期の形態と体力の変化	
13	7月11日	講義	高齢期における動作と姿勢の変化および 運動の重要性について	
14	8月29日	試験	筆記試験	
15	9月12日	講義	試験解説	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】「健康運動実践指導者養成用テキスト」公財 健康・体力づくり事業財団 「フィットネス基礎理論」公財 日本フィットネス協会				

科目名 (英)	エクササイズ基礎 (トレーニング演習)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	吉田晴彦
	(Designing Effective Training Programs)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 月曜3限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	平成15年3月 中学・高等学校教諭一種免許(保健体育)取得 平成22年1月 JATI認定トレーニング指導者資格取得 平成25年3月 柔道整復師免許取得 平成26年4月 スポーツ&コンディショニング「SteadyFive」みやぎのほら接骨院開業						
授業の学習内容	スポーツ指導者は対象や目的に応じて医・科学的な根拠に基づくトレーニングプログラムを作成し、効果的に指導ができる知識と指導力が求められる。この授業では、スポーツトレーニングの基本的な考えを学び、身体のしくみを理解し、対象者に応じて効果的なトレーニングプログラムを作成し、実践しながらスポーツ指導者に必要な知識・技術を学ぶ。						
到達目標	トレーニング指導者テキストの2,3章「各種トレーニング法の理論とプログラムと実際」の内容について説明ができる。 リファレンスブックに記載される「グッドコーチに求められる医・科学的知識」の2,3の内容について説明ができる。 そして、日本スポーツ協会のオンラインテストに合格できる。						
評価方法と基準	1)定期試験60% 2)レポート10% 3)出席30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系	ノートをまとめる
2		演習	スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系	ノートをまとめる
3		演習	スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系	ノートをまとめる
4		演習	体力のトレーニング 身体の仕組み、呼吸循環器系の働きとエネルギー供給	ノートをまとめる
5		演習	体力のトレーニング ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの理論と実際	ノートをまとめる
6		演習	体力のトレーニング 筋力トレーニングの理論と実際	ノートをまとめる
7		演習	体力のトレーニング パワー向上トレーニングの理論と実際	ノートをまとめる
8		演習	体力のトレーニング 有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの理論と実際	ノートをまとめる
9		演習	体力のトレーニング スピード向上トレーニングの理論と実際	ノートをまとめる
10		演習	スキルのトレーニング	ノートをまとめる
11		演習	スキルのトレーニング	ノートをまとめる
12		演習	スキルのトレーニング	ノートをまとめる
13		演習	特別な対象ためのトレーニングプログラム 傷害の受傷から復帰までのトレーニングプログラム	ノートをまとめる
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	
15		演習	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
リファレンスブック トレーニング指導者テキスト実践編				

科目名 (英)	外国語Ⅱ (グローバルコミュニケーション) (Global Communication)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	MARK ZOLOTAR
	学科・コース スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年 土曜
教員の略歴	2013年カナダヒクトリア大学修士課程修了、その後日本の英会話教室、専門学校等でこどもから大人までの英語授業を担当。 2018年英会話教室を開業(CFO)、現在は自身の英会話教室と合わせて、ILCに所属する英会話講師。						
授業の学習内容	将来、多国籍の人々と仕事をするために、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解する「グローバルマインド」と「コミュニケーション力」を兼ね備える。 総合的な英語力①Listening(リスニング力)②Writing(筆記力)③Reading(読解力)④Speaking(会話力)を身につける。 週1回2コマ実施						
到達目標	リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(全4回) 100% CEFR Level A2						

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		演習	be動詞、代名詞の所有格を使って、知人・家族について話す 「～のもの」を表す表現を使って、所有物について話す		教科書の予習・復習	
2		演習	挨拶をして会話を始める練習をする 興味や驚きを表す表現を練習する 自己紹介をする/職場でのフォーマルなEメールを読む、書く		教科書の予習・復習	
3		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「人と共通していることについて」 [Wh-question]を練習する 一般動詞の疑問文、否定文を使って、習慣・ルーティンについて質問する、返答する		教科書の予習・復習	
4		演習	指示代名詞を使って、仕事や勉強をする空間について話す・質問する 意思疎通に問題があったことを説明する 繰り返しを求める表現を練習する		教科書の予習・復習	
5		演習	ポッドキャストについての意見を読む、書く ロールプレイ・プレゼンテーション「仕事や勉強のためのアプリについて」		教科書の予習・復習	
6		演習	「現在進行形」を使って、今まさに起こっていることについて話す 「現在進行形」「現在形」を練習する スポーツ、運動について話す		教科書の予習・復習	
7		演習	知らない情報を人に尋ねたり、情報を読み取ったりできるよう、会話を練習する サービスや会社に対するコメントを読む、書く		教科書の予習・復習	
8		演習/試験	「現在進行形」を使って、これから予定している計画について話す ロールプレイ・プレゼンテーション「フィットネスプログラムを作る」 定期試験/振り返り		教科書の予習・復習	
9		演習	目的格代名詞を使って、人に物をプレゼントする会話を練習する 誰かを誘う、人から誘われた際の会話を練習する 誘いを断る理由を説明する		教科書の予習・復習	
10		演習	未来のイベント案内を読む、書く イベントを企画してアナウンスメントする ロールプレイ・プレゼンテーション「プレゼントを選ぶ」		教科書の予習・復習	
11		演習	過去の出来事について話す/質問する 自分の意見を述べる; 自分の気持ちを相手に伝える 過去形の疑問文、否定文を練習する		教科書の予習・復習	
12		演習	適切な英語表現を用いて、相手を祝ったり、慰めたりする会話を練習する 自分の認識が正しいかどうかを確認する 投稿に対して、賛成・反対のコメントを書く		教科書の予習・復習	
13		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「過去の有名な出来事をまとめる」 [be going to]を使って、買い物に行くことについて会話する		教科書の予習・復習	
14		演習	特定・不特定の物や人の数量を表し、買い物習慣について話す お店で買いたい物、探している物を伝える会話を練習する 物事の言い方を英語で聞く		教科書の予習・復習	
15		演習/試験	新しい商品の説明を読む、Vlog(ビデオブログ)のためのスクリプトを書く プレゼンテーション 定期試験/振り返り		教科書の予習・復習	

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16		演習	数量詞を使って、一番好きな食べ物について話す 食品の味や調理方法について話す 動名詞とto不定詞を使った会話を練習する	教科書の予習・復習
17		演習	[I mean]を使って、会話を練習する 飲食店で料理を注文する会話を練習する オンライン記事の内容を読み、自分の意見をコメントをする	教科書の予習・復習
18		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「パーティを計画する」 自分の町で何をするのかについて話す	教科書の予習・復習
19		演習	[to / for]を使って、理由を説明する/過去に行った旅行について話す 適切なアドバイスや提案する会話を練習する アドバイスに対する反応を練習する	教科書の予習・復習
20		演習	海外旅行・生活についてのアドバイスを読む、書く ロールプレイ・プレゼンテーション「短期旅行のプランを立てる」	教科書の予習・復習
21		演習	いろいろな物を比較する会話を練習する [形容詞の最上級]を使って、写真に写った人について話す	教科書の予習・復習
22		演習	[I guess]を使って、アドバイスを相手に求める、またはアドバイスをする会話を練習する 写真についての説明を読む、書く	教科書の予習・復習
23		演習/試験	ロールプレイ・プレゼンテーション「広告を作り、発表する」 仕事でどのように危険を避けるかを話し合う 定期試験/振り返り	教科書の予習・復習
24		演習	これから先のことについて、適切に表現できるよう、練習する [It feels like (it's like)]を使って、体調不良や怪我の症状などについて話す	教科書の予習・復習
25		演習	将来の自分に向けたメッセージを読む、書く ロールプレイ・プレゼンテーション「リアリティ番組を計画する」	教科書の予習・復習
26		演習	今までに経験したことや経験したことのないことについて話し合う ソーシャルメディアについての内容を読む、話す、質問する	教科書の予習・復習
27		演習	誰かに頼み事をしたり、許可を得ることができるよう、練習する または、その反応をする表現を練習する インフォグラフィックを読む、コメントを書く	教科書の予習・復習
28		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「ビデオ、またBlogを作る」 [be like]を使って、天気について話す	教科書の予習・復習
29		演習	関係代名詞を使って、場所、人、物事を説明する 道を尋ねる、また道を聞かれた時に答える会話を練習する	教科書の予習・復習
30		演習/試験	簡単な指示文を書く プレゼンテーション 定期試験/振り返り	教科書の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
Evolve2				

科目名 (英)	資格検定対策Ⅱ (Preparation for Certificatons Ⅱ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界で活躍するためには、スポーツの専門的な知識・技能や、ビジネススキル、ヒューマンスキルが必要である。それらを身につけていくために、各専門的な協会や団体が認定する資格の取得を目指している。スポーツ業界での仕事は多種多様であり、活躍できる分野も幅広い。自分にとってどのような資格が必要かを考え、合格に向けて主体的に取り組むことができる。						
到達目標	1) 自分に必要な資格が何かを考えることができる 2) 目指す資格取得のためにどのような能力が必要か説明することができる 3) 目指す資格取得のための勉強計画ができる 4) 目指す資格取得ができる						
評価方法と基準	1) 小テスト 20% 2) 筆記・実技テスト 30% 3) 提出物・課題 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	オリエンテーション	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
2	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
3	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
4	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
5	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
6	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
7	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
8	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
9	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
10	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
11	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
12	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
13	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
14	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
15	／	演習	試験	授業内で学んだことをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	資格検定対策Ⅱ (Preparation for Certificatons Ⅱ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界で活躍するためには、スポーツの専門的な知識・技能や、ビジネススキル、ヒューマンスキルが必要である。それらを身につけていくために、各専門的な協会や団体が認定する資格の取得を目指している。スポーツ業界での仕事は多種多様であり、活躍できる分野も幅広い。自分にとってどのような資格が必要かを考え、合格に向けて主体的に取り組むことができる。						
到達目標	1) 自分に必要な資格が何かを考えることができる 2) 目指す資格取得のためにどのような能力が必要か説明することができる 3) 目指す資格取得のための勉強計画ができる 4) 目指す資格取得ができる						
評価方法と基準	1) 小テスト 20% 2) 筆記・実技テスト 30% 3) 提出物・課題 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
17	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
18	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
19	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
20	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
21	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
22	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
23	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
24	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
25	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
26	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
27	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
28	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
29	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
30	／	演習	試験	授業内で学んだことをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	特別講義Ⅱ (Special LectureⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	各業界講師 (担当:藤村)
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界は時代の経過とともに日々進化している。そのスポーツ業界で即戦力として活躍するためには、常に最先端の情報を得ることが求められる。産学連携教育の一貫として、業界の最先端で活躍している企業やプロの講師から業界の話やこれから身につけてくべきスキルについて学ぶ。						
到達目標	1) 今の業界の流れ・仕組みが説明できる 2) 今の業界で求められるスキルが説明できる 3) 1),2)の上で、自分が今後どうすべきかを計画し、説明することができる						
評価方法と基準	1) 事前・事後課題の提出 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
2	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
3	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
4	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
5	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
6	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
7	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
8	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
9	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
10	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
11	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
12	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
13	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
14	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
15	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	特別講義Ⅱ (Special LectureⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	各業界講師 (担当:藤村)
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界は時代の経過とともに日々進化している。そのスポーツ業界で即戦力として活躍するためには、常に最先端の情報を得ることが求められる。産学連携教育の一貫として、業界の最先端で活躍している企業やプロの講師から業界の話やこれから身につけてくべきスキルについて学ぶ。						
到達目標	1) 今の業界の流れ・仕組みが説明できる 2) 今の業界で求められるスキルが説明できる 3) 1),2)の上で、自分が今後どうすべきかを計画し、説明することができる						
評価方法と基準	1) 事前・事後課題の提出 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
17	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
18	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
19	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
20	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
21	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
22	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
23	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
24	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
25	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
26	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
27	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
28	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
29	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
30	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ワークショップⅡ (WorkshopⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界の仕事は多種多様である。そのため現場で活躍するためには幅広い学びが必要である。この授業ではこれまで受講してきた内容をさらに体験的に学習したり、グループ学習を通してディスカッションしたり、発表したりなど知識を得るだけでなくアウトプットを中心に実践力を高めながら展開する。 ひとり一人目指す現場で求められるスキルが大きく異なるため、自分にとって何が課題かを考えながら、スキル習得のための計画を立て、実践を繰り返していく。						
到達目標	1) 日々の授業で学んだことを整理し、ポイントについて説明することができる 2) 自分が目指す業界に必要なスキルについて説明することができる 3) 2)のスキルを向上させるための学習についてPDCAすることができる						
評価方法と基準	1) 自分に必要なスキルの向上に向けたPDCAができているかを評価 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
2	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
3	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
4	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
5	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
6	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
7	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
8	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
9	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
10	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
11	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
12	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
13	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
14	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
15	／	演習	まとめ・評価	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ワークショップⅡ (WorkshopⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界の仕事は多種多様である。そのため現場で活躍するためには幅広い学びが必要である。この授業ではこれまで受講してきた内容をさらに体験的に学習したり、グループ学習を通してディスカッションしたり、発表したりなど知識を得るだけでなくアウトプットを中心に実践力を高めながら展開する。 ひとり一人目指す現場で求められるスキルが大きく異なるため、自分にとって何が課題かを考えながら、スキル習得のための計画を立て、実践を繰り返していく。						
到達目標	1) 日々の授業で学んだことを整理し、ポイントについて説明することができる 2) 自分が目指す業界に必要なスキルについて説明することができる 3) 2)のスキルを向上させるための学習についてPDCAすることができる						
評価方法と基準	1) 自分に必要なスキルの向上に向けたPDCAができているかを評価 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
17	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
18	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
19	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
20	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
21	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
22	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
23	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
24	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
25	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
26	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
27	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
28	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
29	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
30	／	演習	まとめ・評価	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ワークショップⅡ (WorkshopⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界の仕事は多種多様である。そのため現場で活躍するためには幅広い学びが必要である。この授業ではこれまで受講してきた内容をさらに体験的に学習したり、グループ学習を通してディスカッションしたり、発表したりなど知識を得るだけでなくアウトプットを中心に実践力を高めながら展開する。 ひとり一人目指す現場で求められるスキルが大きく異なるため、自分にとって何が課題かを考えながら、スキル習得のための計画を立て、実践を繰り返していく。						
到達目標	1) 日々の授業で学んだことを整理し、ポイントについて説明することができる 2) 自分が目指す業界に必要なスキルについて説明することができる 3) 2)のスキルを向上させるための学習についてPDCAすることができる						
評価方法と基準	1) 自分に必要なスキルの向上に向けたPDCAができているかを評価 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
31	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
32	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
33	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
34	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
35	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
36	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
37	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
38	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
39	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
40	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
41	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
42	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
43	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
44	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
45	／	演習	まとめ・評価	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ワークショップⅡ (WorkshopⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界の仕事は多種多様である。そのため現場で活躍するためには幅広い学びが必要である。この授業ではこれまで受講してきた内容をさらに体験的に学習したり、グループ学習を通してディスカッションしたり、発表したりなど知識を得るだけでなくアウトプットを中心に実践力を高めながら展開する。 ひとり一人目指す現場で求められるスキルが大きく異なるため、自分にとって何が課題かを考えながら、スキル習得のための計画を立て、実践を繰り返していく。						
到達目標	1) 日々の授業で学んだことを整理し、ポイントについて説明することができる 2) 自分が目指す業界に必要なスキルについて説明することができる 3) 2)のスキルを向上させるための学習についてPDCAすることができる						
評価方法と基準	1) 自分に必要なスキルの向上に向けたPDCAができているかを評価 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
46	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
47	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
48	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
49	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
50	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
51	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
52	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
53	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
54	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
55	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
56	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
57	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
58	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
59	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
60	／	演習	まとめ・評価	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ゼミⅡ (Seminar Ⅱ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	各業界講師 (担当: 藤村)
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界での仕事は多種多様で幅広い。多くのことを経験し、多くの知識・技能を身につけることは現場で活躍していく上で大切である。その一方で現場では高いスキルも求められる。自分がやりたい仕事現場で、一層活躍していくためにはひとつ一つの学びをさらに自ら深めていく必要である。この授業では、自分に必要なテーマ・課題について学生が主体となって集まり、グループで考えたり、討論、発表しながら知識・技能を深めていく。						
到達目標	1) 自分に必要な知識・技能について考え、学ぶことへ興味・関心を抱きそれを説明することができる 2) 自分が活躍していく業界や現場での問題点や課題についてグループで考え、意見をまとめ、発表することができる						
評価方法と基準	1) グループワークの取り組み(意欲関心態度) 50% 2) 提出物 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
2	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
3	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
4	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
5	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
6	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
7	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
8	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
9	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
10	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
11	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
12	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
13	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
14	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
15	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ゼミⅡ (Seminar Ⅱ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	各業界講師 (担当: 藤村)
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界での仕事は多種多様で幅広い。多くのことを経験し、多くの知識・技能を身につけることは現場で活躍していく上で大切である。その一方で現場では高いスキルも求められる。自分がやりたい仕事現場で、一層活躍していくためにはひとつ一つの学びをさらに自ら深めていく必要である。この授業では、自分に必要なテーマ・課題について学生が主体となって集まり、グループで考えたり、討論、発表しながら知識・技能を深めていく。						
到達目標	1) 自分に必要な知識・技能について考え、学ぶことへ興味・関心を抱きそれを説明することができる 2) 自分が活躍していく業界や現場での問題点や課題についてグループで考え、意見をまとめ、発表することができる						
評価方法と基準	1) グループワークの取り組み(意欲関心態度) 50% 2) 提出物 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
17	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
18	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
19	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
20	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
21	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
22	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
23	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
24	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
25	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
26	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
27	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
28	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
29	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
30	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ゼミⅡ (Seminar Ⅱ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	各業界講師 (担当: 藤村)
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界での仕事は多種多様で幅広い。多くのことを経験し、多くの知識・技能を身につけることは現場で活躍していく上で大切である。その一方で現場では高いスキルも求められる。自分がやりたい仕事現場で、一層活躍していくためにはひとつ一つの学びをさらに自ら深めていく必要である。この授業では、自分に必要なテーマ・課題について学生が主体となって集まり、グループで考えたり、討論、発表しながら知識・技能を深めていく。						
到達目標	1) 自分に必要な知識・技能について考え、学ぶことへ興味・関心を抱きそれを説明することができる 2) 自分が活躍していく業界や現場での問題点や課題についてグループで考え、意見をまとめ、発表することができる						
評価方法と基準	1) グループワークの取り組み(意欲関心態度) 50% 2) 提出物 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
31	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
32	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
33	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
34	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
35	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
36	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
37	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
38	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
39	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
40	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
41	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
42	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
43	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
44	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
45	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ゼミⅡ (SeminarⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	各業界講師 (担当:藤村)
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界での仕事は多種多様で幅広い。多くのことを経験し、多くの知識・技能を身につけることは現場で活躍していく上で大切である。その一方で現場では高いスキルも求められる。自分がやりたい仕事現場で、一層活躍していくためにはひとつ一つの学びをさらに自ら深めていく必要である。この授業では、自分に必要なテーマ・課題について学生が主体となって集まり、グループで考えたり、討論、発表しながら知識・技能を深めていく。						
到達目標	1) 自分に必要な知識・技能について考え、学ぶことへ興味・関心を抱きそれを説明することができる 2) 自分が活躍していく業界や現場での問題点や課題についてグループで考え、意見をまとめ、発表することができる						
評価方法と基準	1) グループワークの取り組み(意欲関心態度) 50% 2) 提出物 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
46	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
47	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
48	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
49	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
50	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
51	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
52	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
53	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
54	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
55	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
56	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
57	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
58	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
59	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
60	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	現場実習Ⅱ (Internship programⅡ)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
	学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	集中
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員							
授業の学習内容	スポーツ現場の見学や実習を通して、専門分野で学んだ知識・技術を実践し高める。							
到達目標	1) 実習先を行う上での現場のルールを説明できる 2) 実習の予定・計画ができる 3) 実習担当者と打ち合わせしながら実習を全うできる 4) 実習先でのお客様への正しい対応について説明ができる 5) 実習での目的・目標について説明ができる 6) 1)-5)をもとに実習さきでPDCAを実践できる							
評価方法と基準	実習内容、学習内容を実習報告書に記録する。実習報告書提出者に単位を認定する							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
2	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
3	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
4	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
5	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
6	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
7	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
8	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
9	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
10	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
11	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
12	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
13	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
14	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
15	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
準備学習 時間外学習			復習として実習内容のポイントをまとめる	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	現場実習Ⅱ (Internship programⅡ)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
	学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	集中
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員							
授業の学習内容	スポーツ現場の見学や実習を通して、専門分野で学んだ知識・技術を実践し高める。							
到達目標	1) 実習先を行う上での現場のルールを説明できる 2) 実習の予定・計画ができる 3) 実習担当者と打ち合わせしながら実習を全うできる 4) 実習先でのお客様への正しい対応について説明ができる 5) 実習での目的・目標について説明ができる 6) 1)-5)をもとに実習さきでPDCAを実践できる							
評価方法と基準	実習内容、学習内容を実習報告書に記録する。実習報告書提出者に単位を認定する							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
17	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
18	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
19	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
20	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
21	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
22	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
23	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
24	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
25	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
26	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
27	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
28	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
29	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
30	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
準備学習 時間外学習			復習として実習内容のポイントをまとめる	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	現場実習Ⅱ	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
	(Internship programⅡ)	授業 形態	実習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	集中
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科						
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ現場の見学や実習を通して、専門分野で学んだ知識・技術を実践し高める。						
到達目標	1) 実習先を行う上での現場のルールを説明できる 2) 実習の予定・計画ができる 3) 実習担当者と打ち合わせしながら実習を全うできる 4) 実習先でのお客様への正しい対応について説明ができる 5) 実習での目的・目標について説明ができる 6) 1)-5)をもとに実習さきでPDCAを実践できる						
評価方法と基準	実習内容、学習内容を実習報告書に記録する。実習報告書提出者に単位を認定する						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
31	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
32	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
33	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
34	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
35	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
36	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
37	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
38	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
39	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
40	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
41	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
42	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
43	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
44	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
45	/	実習	現場業務に携わり知識・技術を習得する 実習での自分について振り返る	学んだことを報告書にまとめる
準備学習 時間外学習			復習として実習内容のポイントをまとめる	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	進級制作Ⅱ (Promotion workⅡ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	藤村真仁
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期 金曜1限
教員の略歴	2006年4月～20017年12月までフィットネスクラブに所属 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	これまで学習したことや体得したことを、個人やグループでテーマを設定し、課題に取り組む。						
到達目標	①1年次の学習内容から自分でテーマを設定できる ②テーマについてまとめることができる ③パワーポイントの作成ができる ④プレゼンテーションができる						
評価方法と基準	1)出席数50% 2)作成したパワーポイント25% 3)プレゼンテーション25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	これまでの学び振り返りテーマを設定できる	資料まとめ
2		演習	これまでの学び振り返りテーマを設定できる	資料まとめ
3		演習	これまでの学び振り返りテーマを設定できる	資料まとめ
4		演習	テーマについて資料を集めることができる	資料まとめ
5		演習	テーマについて資料を集めることができる	資料まとめ
6		演習	テーマについて資料を集めることができる	資料まとめ
7		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
8		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
9		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
10		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
11		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
12		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
13		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
14		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
15		演習	テーマについてまとめることができる	資料まとめ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	コーチング演習 I (Coaching I)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	渡会 稔
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 水曜・3限
教員の略歴	1999年日本スポーツ協会アスレティックトレーナー取得 2009年～2014年仙台大学 体育学部 体育学科 助教 プロバスケットボールチームトレーナーを歴任						
授業の学習内容	スポーツ指導者には対象者やその目的に合わせたプログラム作成と指導力が求められる。幼児期から児童期後期にかけては神経・筋コントロール能力の向上が著しい。そのため、あそびの要素を取り入れ、基本動作習得のための指導計画し実践していく。高齢期では健康体力維持増進を目的に安全に配慮したスポーツ指導を計画し実践していく。この授業を通して、スポーツ実践者にあらゆる人に生涯にわたってスポーツに親しめるような指導力を身に付ける。						
到達目標	スポーツ指導者には対象者やその目的に合わせたプログラム作成と指導力が求められる。幼児期から児童期後期にかけては神経・筋コントロール能力の向上が著しい。そのため、あそびの要素を取り入れ、基本動作習得のための指導計画し実践していく。高齢期では健康体力維持増進を目的に安全に配慮したスポーツ指導を計画し実践していく。この授業を通して、スポーツ実践者にあらゆる人に生涯にわたってスポーツに親しめるような指導力を身に付ける。						
評価方法と基準	1) 筆記試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	運動プログラムの作成について	授業中のノートを確認しまとめる
2		演習	発育・発達・老化	授業中のノートを確認しまとめる
3		演習	発達段階に応じたスポーツ計画・指導	授業中のノートを確認しまとめる
4		演習	発達段階に応じたスポーツ計画・指導	授業中のノートを確認しまとめる
5		演習	発達段階に応じたスポーツ計画・指導	授業中のノートを確認しまとめる
6		演習	目的に応じたスポーツ計画・指導	授業中のノートを確認しまとめる
7		演習	目的に応じたスポーツ計画・指導	授業中のノートを確認しまとめる
8		演習	目的に応じたスポーツ計画・指導	授業中のノートを確認しまとめる
9		演習	運動遊びとアレンジ	授業中のノートを確認しまとめる
10		演習	運動遊びとアレンジ	授業中のノートを確認しまとめる
11		演習	年齢・体力に応じたスポーツ計画・指導	授業中のノートを確認しまとめる
12		演習	年齢・体力に応じたスポーツ計画・指導	授業中のノートを確認しまとめる
13		演習	年齢・体力に応じたスポーツ計画・指導	授業中のノートを確認しまとめる
14		演習	試験	
15		演習	振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	コーチング演習Ⅱ (CoachingⅡ)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	吉田晴彦
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 水曜・3限
教員の略歴	平成15年3月 中学・高等学校教諭一種免許(保健体育)取得 平成22年1月 JAT認定トレーニング指導者資格取得 平成25年3月 柔道整復師免許取得 平成26年4月 スポーツ&コンディショニング「SteadyFive」みやぎのほら接骨院開業						
授業の学習内容	コーチングに関わる実際の実例をもとに、実践に向けた知識を身につけることができる						
到達目標	1) グループであらゆる現場を想定し、コーチに求められる役割・知識・スキルの向上を目指したスポーツ指導計画をたてることのできる 2) 1)で計画した指導プランにそって指導を実務することができる 3) 1),2)についてフィードバックすることができる 4) 他指導者の1),2),3)をプレイヤー目線で体験し、考えを言うことができる						
評価方法と基準	1) 提出物100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	オリエンテーション	指導計画と指導の振り返り
2		演習	スポーツ指導の計画・実践・フィードバック	指導計画と指導の振り返り
3		演習	スポーツ指導の計画・実践・フィードバック	指導計画と指導の振り返り
4		演習	スポーツ指導の計画・実践・フィードバック	指導計画と指導の振り返り
5		演習	スポーツ指導の計画・実践・フィードバック	指導計画と指導の振り返り
6		演習	スポーツ指導の計画・実践・フィードバック	指導計画と指導の振り返り
7		演習	スポーツ指導の計画・実践・フィードバック	指導計画と指導の振り返り
8		演習	スポーツ指導の計画・実践・フィードバック	指導計画と指導の振り返り
9		演習	スポーツ指導の計画・実践・フィードバック	指導計画と指導の振り返り
10		演習	スポーツ指導の計画・実践・フィードバック	指導計画と指導の振り返り
11		演習	スポーツ指導の計画・実践・フィードバック	指導計画と指導の振り返り
12		演習	スポーツ指導の計画・実践・フィードバック	指導計画と指導の振り返り
13		演習	スポーツ指導の計画・実践・フィードバック	指導計画と指導の振り返り
14		演習	試験	
15		演習	振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	データ分析Ⅱ (Data AnalyticsⅡ)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
	学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	2006年4月～2007年12月までフィットネスクラブに所属 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ選手のパフォーマンスの向上や、チームの戦術などにテクノロジーが使用されている。またそれは日々改善され、道具の開発も進んでいる。スポーツ業界で活躍する上では、スポーツとテクノロジーの関連についての感性を磨くことが大切である。この授業では、現在現場で使用されているテクノロジーに触れ、その使用方法を学んだり、それらをどう生かしていくかを考える。また、それらの活用でわかる各データを分析し、さらに改善していくためには何が必要かを考える力を身に付けていく。						
到達目標	スポーツ現場で使用している分析ソフトウェアについて 1) 概要を説明できる 2) 準備・使用ができる 3) 使用方法について人に説明できる 4) 対象へ測定・記録などができる 5) 測定したデータについて自分の考えが説明できる 6) 5)についてグループで意見交換し、考えをまとめ発表ができる						
評価方法と基準	1)課題提出・発表 100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		演習	機器の概要		資料まとめ
2		演習	機器の概要		資料まとめ
3		演習	準備・設置		資料まとめ
4		演習	準備・設置		資料まとめ
5		演習	測定方法		資料まとめ
6		演習	測定方法		資料まとめ
7		演習	測定方法		資料まとめ
8		演習	記録・数値・分析		資料まとめ
9		演習	記録・数値・分析		資料まとめ
10		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
11		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
12		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
13		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
14		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
15		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
準備学習		時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名 (英)	データ分析Ⅲ (Data Analytics Ⅲ)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
	学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	2006年4月～20017年12月までフィットネスクラブに所属 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ選手のパフォーマンスの向上や、チームの戦術などにテクノロジーが使用されている。またそれは日々改善され、道具の開発も進んでいる。スポーツ業界で活躍する上では、スポーツとテクノロジーの関連についての感性を磨くことが大切である。この授業では、現在現場で使用されているテクノロジーに触れ、その使用方法を学んだり、それらをどう生かしていくかを考える。また、それらの活用でわかる各データを分析し、さらに改善していくためには何が必要かを考える力を身に付けていく。						
到達目標	スポーツ現場で使用している分析ソフトウェアについて 1) 概要を説明できる 2) 準備・使用ができる 3) 使用方法について人に説明できる 4) 対象へ測定・記録などができる 5) 測定したデータについて自分の考えが説明できる 6) 5)についてグループで意見交換し、考えをまとめ発表ができる						
評価方法と基準	1)課題提出・発表 100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		演習	機器の概要		資料まとめ
2		演習	機器の概要		資料まとめ
3		演習	準備・設置		資料まとめ
4		演習	準備・設置		資料まとめ
5		演習	測定方法		資料まとめ
6		演習	測定方法		資料まとめ
7		演習	測定方法		資料まとめ
8		演習	記録・数値・分析		資料まとめ
9		演習	記録・数値・分析		資料まとめ
10		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
11		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
12		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
13		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
14		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
15		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
準備学習		時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名 (英)	スポーツセンシング I	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	佐藤文彦
	(Sports Sensing I)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 曜日・時限 金曜・4,5限
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科						
教員の略歴	株式会社DELTA パートナーアナリスト						
授業の学習内容	<p>セイバーメトリクスの入門的内容として、成立から現代までの発展の歴史を学びます。セイバーメトリクスというと、OPSやFIP、wOBA等々の近年になって開発された新しい指標をイメージする人が多いです。これらもセイバーメトリクスの成果であり産物ではありますが、授業ではこうした指標が生まれた過程を理解することに重点を置きます。</p> <p>また、「こういうことが新たに分かった」というセイバーメトリクスの知見をただ覚えるのではなく、根拠となったデータを見て理解できるようになることを目標とします。</p> <p>そして、オープンになっている野球のデータを利用し、指標の計算や必要に応じた作図ができるようになることを目指します。</p>						
到達目標	<p>目標①セイバーメトリクスの成立から現代までの発展の過程を理解する</p> <p>目標②セイバーメトリクスの発展によってもたらされた知見を覚えるのではなく、根拠となるデータを見てその意味を理解できるようになる</p> <p>目標③野球のデータを利用し、指標の計算や必要に応じた作図ができるようになる</p>						
評価方法と基準	1) 提出物 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	セイバーメトリクスを学ぶ	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
2		演習	野球の一般原理①:ピタゴラス勝率・得点期待値・得点価値	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
3		演習	野球の一般原理②:野球のセオリーの見直し	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
4		演習	野球の一般原理③:野球を取り巻く環境の影響	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
5		演習	成績を予測する	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
6		演習	野球のデータを利用する	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
7		演習	選手の評価①:選手を評価すること	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
8		演習	選手の評価②:打撃・投球	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
9		演習	選手の評価③:守備・走塁	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
10		演習	選手の評価④:総合評価	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
11		演習	選手の評価⑤:選手を評価を視覚的に表現する	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
12		演習	近年のトレンド①:トラッキングデータの導入	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
13		演習	近年のトレンド②:トラッキングデータがもたらしたもの	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
14		演習	近年のトレンド③:Baseball Savantの使い方	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
15		演習	セイバーメトリクスのこれから	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書:セイバーメトリクス入門 脱常識で野球を科学する, 蛭川皓平(著), 岡田友輔(監修), 水曜社				
関連図書:[プロ野球でわかる!]はじめての統計学, 株式会社DELTA 佐藤 文彦/student(著), 岡田 友輔(監修), 技術評論社				

科目名 (英)	スポーツセンシング II	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
	(Sports Sensing I)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 集中
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科						
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ現場では、テクノロジーを使用した測定・分析・評価が行われ、選手のパフォーマンス向上やチームの勝利に活かされている。そしてその技術は日々進歩している。この授業ではその機器を活用し測定や分析・評価の知識・技術を身につけていく						
到達目標	スポーツ現場で使用されている専門的な分析ツールについて人に説明でき、現場で準備・測定ができる。 また、結果をもとに分析し、選手のパフォーマンス改善のための具体的なプランが説明できる。						
評価方法と基準	1) 提出物 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	分析ツールを使用 準備、測定	資料まとめ
2		演習	分析ツールを使用 準備、測定	資料まとめ
3		演習	分析ツールを使用 準備、測定	資料まとめ
4		演習	分析とプラン	資料まとめ
5		演習	分析とプラン	資料まとめ
6		演習	分析とプラン	資料まとめ
7		演習	分析ツールを使用 準備、測定	資料まとめ
8		演習	分析ツールを使用 準備、測定	資料まとめ
9		演習	分析ツールを使用 準備、測定	資料まとめ
10		演習	分析とプラン	資料まとめ
11		演習	分析とプラン	資料まとめ
12		演習	分析とプラン	資料まとめ
13		演習	まとめ	資料まとめ
14		演習	まとめ	資料まとめ
15		試験	まとめ	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	パフォーマンスⅡ (アスレティックリハビリテーションⅡ) (Athletic Rehabilitation Ⅱ)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	千葉渉
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 月曜・5限
教員の略歴	医療法人松田会 松田病院 理学療法士、日本スポーツ協会アスレティックトレーナー							
授業の学習内容	子どもから高齢者の健康維持の増進や、競技者の競技復帰において基盤となるアスレティックリハビリテーション、各療法の知識、技術を習得する。傷害別のアスレティックリハビリテーションプログラムの計画、立案、実践の方法を理解する。							
到達目標	①アスレティックリハビリテーションに必要な知識、技術を理解する ②傷害別アスレティックリハビリテーションプログラムの計画、立案ができるようになる ③傷害別アスレティックリハビリテーションプログラムを実践できるようになる							
評価方法と基準	1)定期試験60% 2)レポート10% 3)出席30%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	体幹部の解剖学的運動を理解する	体幹部の機能解剖をまとめる
2		演習	体幹部のアスレティックリハビリテーションを理解する	体幹部のアスレティックリハビリテーションをまとめる
3		演習	体幹部の関節可動域測定を理解する	体幹部の関節可動域測定の方法をまとめる
4		演習	体幹部のMMTを理解する	体幹部のMMTをまとめる
5		演習	まとめ	
6		演習	頸部の解剖学的運動を理解する	頸部の機能解剖をまとめる
7		演習	頸部のアスレティックリハビリテーションを理解する	頸部のアスレティックリハビリテーションをまとめる
8		演習	頸部の関節可動域測定を理解する	頸部の関節可動域測定の方法をまとめる
9		演習	頸部のMMTを理解する	頸部のMMTをまとめる
10		演習	まとめ	
11		演習	傷害別アスレティックリハビリテーションの計画立案①を理解する	体幹のアスレティックリハビリテーションのプログラミングと実践をまとめる
12		演習	傷害別アスレティックリハビリテーションの計画立案②を理解する	上肢のアスレティックリハビリテーションのプログラミングと実践をまとめる
13		演習	傷害別アスレティックリハビリテーションの計画立案③を理解する	下肢のアスレティックリハビリテーションのプログラミングと実践をまとめる
14		試験	定期試験	
15		演習	まとめ	
準備学習 時間外学習			授業の復習として各講義のポイントをまとめる	
【使用教科書・教材・参考書】				
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦アスレティックリハビリテーション				

科目名 (英)	パフォーマンスⅡ (アスレティックリハビリテーションⅢ) (Athletic Rehabilitation Ⅲ)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	千葉渉
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 集中
教員の略歴	医療法人松田会 松田病院 理学療法士、日本スポーツ協会アスレティックトレーナー							
授業の学習内容	子どもから高齢者の健康維持の増進や、競技者の競技復帰において基盤となるアスレティックリハビリテーション、各療法の知識、技術を習得する。種目運動別のアスレティックリハビリテーションプログラムの計画、立案、実践の方法を理解する。							
到達目標	①アスレティックリハビリテーションに必要な知識、技術を理解する ②種目運動別アスレティックリハビリテーションプログラムの計画、立案ができるようになる ③種目運動別アスレティックリハビリテーションプログラムを実践できるようになる							
評価方法と基準	1)定期試験60% 2)レポート10% 3)出席30%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	受傷直後、急性期の対応を理解する	外傷の急性期の対応をまとめる
2		演習	亜急性期のアスレティックリハビリテーションを理解する	亜急性期のアスレティックリハビリテーションをまとめる
3		演習	慢性期初期のアスレティックリハビリテーションを理解する	慢性期初期のアスレティックリハビリテーションをまとめる
4		演習	慢性期中期のアスレティックリハビリテーションを理解する	慢性期中期のアスレティックリハビリテーションをまとめる
5		演習	慢性期後期のアスレティックリハビリテーションを理解する	慢性期後期のアスレティックリハビリテーションをまとめる
6		演習	機能回復期のアスレティックリハビリテーションを理解する	機能回復期のアスレティックリハビリテーションをまとめる
7		演習	オーバーユースによる傷害と対処を理解する	オーバーユースによる傷害と対処をまとめる
8		演習	種目運動別アスレティックリハビリテーションの実例①を理解する	陸上、水泳のアスレティックリハビリテーションの実例をまとめる
9		演習	種目運動別アスレティックリハビリテーションの実例②	サッカー、バスケットボールのアスレティックリハビリテーションの実例をまとめる
10		演習	種目運動別アスレティックリハビリテーションの実例③	バレーボール、ハンドボールのアスレティックリハビリテーションの実例をまとめる
11		演習	種目運動別アスレティックリハビリテーションの実例④	野球、ラグビーのアスレティックリハビリテーションの実例をまとめる
12		演習	種目運動別アスレティックリハビリテーションの実例⑤	格闘技、体操のアスレティックリハビリテーションの実例をまとめる
13		演習	種目運動別アスレティックリハビリテーションの実例⑥	スキー、スケートのアスレティックリハビリテーションの実例をまとめる
14		試験	定期試験	
15		演習	まとめ	
準備学習 時間外学習			授業の復習として各講義のポイントをまとめる	
【使用教科書・教材・参考書】				
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦アスレティックリハビリテーション				

科目名 (英)	コンディショニングⅡ (コンディショニング理論演習Ⅱ) (Seminar of Strengthand ConditioningⅡ)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	早坂 ひとみ
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 木曜3限
教員の略歴	専門学校卒業後柔道整復師として勤務。柔道整復師・日本スポーツ協会アスレティックトレーナー JATI-AATI							
授業の学習内容	マシン、フリーウェイト、といったレジスタンストレーニング方法や正しい運動のフォームを理解し、人に説明や指導をすることができる。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング方法を習得する目的を理解する。 ・マシン、フリーウェイトを使ったレジスタンストレーニングの方法や正しい運動のフォームを理解し、指導できる。 							
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記テスト ・実技 							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	トレーニング方法を習得する目的と目標を説明できる	学んだことを振り返る
2		演習	自体重およびチューブを利用した、トレーニングが実践できる①	学んだことを振り返る
3		演習	自体重およびチューブを利用した、トレーニングが実践できる②	学んだことを振り返る
4		演習	自体重およびチューブを利用した、トレーニングが実践できる③	学んだことを振り返る
5		演習	自体重およびチューブを利用した、トレーニングが実践できる④	学んだことを振り返る
6		演習	フリーウェイトを活用した各上肢および下肢の種目が説明・実践できる①	学んだことを振り返る
7		演習	フリーウェイトを活用した各上肢および下肢の種目が説明・実践できる②	学んだことを振り返る
8		演習	フリーウェイトを活用した各上肢および下肢の種目が説明・実践できる③	学んだことを振り返る
9		演習	フリーウェイトを活用した各上肢および下肢の種目が説明・実践できる④	学んだことを振り返る
10		演習	マシンを活用した上肢および下肢の種目が説明・実践できる①	学んだことを振り返る
11		演習	マシンを活用した上肢および下肢の種目が説明・実践できる②	学んだことを振り返る
12		演習	各トレーニング種目が説明・指導できる①	学んだことを振り返る
13		演習	各トレーニング種目が説明・指導できる②	学んだことを振り返る
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	
15		演習	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
アスレティックトレーナー専門科目テキスト 予防とコンディショニング				

科目名 (英)	コンディショニングⅡ (トレーニング科学) (Training Science for Exercise and Sport)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	渡会稔
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 水曜・3限
教員の略歴	1999年日本スポーツ協会アスレティックトレーナー取得 2009年～2014年仙台大学 体育学部 体育学科 助教 プロバスケットボールチームトレーナーを歴任							
授業の学習内容	身体トレーニングは、目的、年齢により方法論が変わる。科学的根拠に基づく適切な運動プログラムの作成と指導方を学ぶ。							
到達目標	目的、年齢に応じた筋力トレーニングを生理学的知識をもとに計画することができる。							
評価方法と基準	1) 筆記試験100%							

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義	トレーニング総論について説明できる		講義の復習
2		講義	筋力トレーニングの効果とプログラム作成について説明できる		講義の復習
3		講義	パワー向上トレーニングの理論とプログラム作成について説明できる		講義の復習
4		講義	スピード向上トレーニングの理論とプログラムの作成について説明できる		講義の復習
5		講義	持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成について説明できる		講義の復習
6		講義	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウンの理論とプログラムの作成について説明できる		講義の復習
7		講義	特別な対象のためのトレーニングプログラム、傷害の受傷から復帰までのトレーニングプログラム作成と実際について説明できる		講義の復習
8		講義	筋力トレーニングの実際について説明できる		講義の復習
9		講義	パワー向上トレーニングの実際について説明できる		講義の復習
10		講義	持久力向上トレーニングの実際について説明できる		講義の復習
11		講義	スピード向上トレーニングの実際について説明できる		講義の復習
12		講義	柔軟性トレーニング及びウォームアップの実際について説明できる		講義の復習
13		講義	トレーニング効果の測定と評価の実際、測定データの活用とフィードバックの実際について説明できる		講義の復習
14		試験	学習した内容の問題に答えられる		自主採点
15		講義	学習した内容の問題に答えられる		試験内容の復習
準備学習 時間外学習			復習ノートの作成		
【使用教科書・教材・参考書】					
公認アスレティックトレーナー専門科目テキストスポーツ科学 フィットネス基礎理論 トレーニング指導者テキスト					

科目名 (英)	スポーツビジネス (スポーツマーケティング I)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	吉田晴彦	
	(Sports Marketing I)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期	
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	曜日・時限						金曜・4限
教員の略歴	平成15年3月 中学・高等学校教諭一種免許(保健体育)取得 平成22年1月 JATI認定トレーニング指導者資格取得 平成25年3月 柔道整復師免許取得 平成26年4月 スポーツ&コンディショニング「SteadyFive」みやぎのほら接骨院開業							
授業の学習内容	スポーツはあらゆる産業と何かしらで関わっている。そのビジネスは日々発展している。この授業ではそのスポーツ市場においてどのようなビジネスが行われているかを考えていく。そして、それぞれがどのような目的で、どのような仕事が行われているかを考えていく。さらに、どうすればそれが発展していけるのかについて考えていく。							
到達目標	スポーツと産業の仕組みについて説明できる。 各種スポーツ産業において、どのような効果的なビジネスが行われているかを、個人やグループで考え、ディスカッションし、考えをまとめ発表することが出来る。							
評価方法と基準	1)出席40% 2)発表40% 3)レポート20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	スポーツマーケティング I で何を学ぶか	学んだことを振り返る
2		演習	スポーツ産業のこれまでとこれから	学んだことを振り返る
3		演習	スポーツ産業のこれまでとこれから	学んだことを振り返る
4		演習	スポーツ市場	学んだことを振り返る
5		演習	スポーツ市場	学んだことを振り返る
6		演習	スポーツ市場	学んだことを振り返る
7		演習	スポーツ消費者	学んだことを振り返る
8		演習	スポーツ消費者	学んだことを振り返る
9		演習	スポーツマーケティング	学んだことを振り返る
10		演習	スポーツマーケティング	学んだことを振り返る
11		演習	スポーツマーケティング	学んだことを振り返る
12		演習	スポーツマーケティング	学んだことを振り返る
13		演習	スポーツマーケティング	学んだことを振り返る
14		試験	定期試験	学んだことを振り返る
15		演習	まとめ	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	集客 I (SNS活用術 I) (SNS Marketing I)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 金曜・4限
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員							
授業の学習内容	様々なスポーツ現場でファンを獲得したり、集客につなげるために効果的なSNS(LINE、ツイッター、インスタグラム、youtubeなど)の活用ができるために、実践しながら機能を確認していく。							
到達目標	各種SNSの種類や、仕組み、特徴について説明することができる。 SNSを活用するメリットやデメリットについて説明することができる。 SNSの社会的な問題について説明することができる。 各種SNSの使い方を説明することができる。 各種SNSを使用することができる。 各種SNSの使用をサポートすることができる。							
評価方法と基準	1) 提出物 100%							

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	オリエンテーション SNSとは				
2		演習	SNSの種類、仕組み、特徴		事前に調べる		
3		演習	SNSの種類、仕組み、特徴		事前に調べる		
4		演習	SNSのメリットとデメリット		事前に調べる		
5		演習	SNSのメリットとデメリット		事前に調べる		
6		演習	SNSを取り巻く社会的問題		事前に調べる		
7		演習	SNSを取り巻く社会的問題		事前に調べる		
8		演習	各種SNSの使用実践、機能の確認		機能確認・振り返り		
9		演習	各種SNSの使用実践、機能の確認		機能確認・振り返り		
10		演習	各種SNSの使用実践、機能の確認		機能確認・振り返り		
11		演習	各種SNSの使用実践、機能の確認		機能確認・振り返り		
12		演習	各種SNSの使用実践、機能の確認		機能確認・振り返り		
13		演習	各種SNSの使用実践、機能の確認		機能確認・振り返り		
14		演習	各種SNSの使用実践、機能の確認		機能確認・振り返り		
15		演習	各種SNSの使用実践、機能の確認		機能確認・振り返り		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	集客 I (SNS活用術 II) (SNS Marketing II)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 金曜・4限
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員							
授業の学習内容	様々なスポーツ現場でファンを獲得したり、集客につなげるために効果的なSNS(LINE、ツイッター、インスタグラム、youtubeなど)の活用ができるために、実践しながら機能を確認していく。							
到達目標	スポーツビジネスの現場を想定し、SNSをどのように活用できるかを考え説明することができる。 各種SNSを実際に運用しながら、工夫や改善について説明し、実践することができる							
評価方法と基準	1) 提出物 100%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
2		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
3		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
4		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
5		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
6		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
7		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
8		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
9		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
10		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
11		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
12		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
13		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
14		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
15		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	制作Ⅱ (動画編集&カメラワークⅡ)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	真島一平
	(Video Editing & Camera Techniques Ⅱ)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 火曜3限
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科						
教員の略歴	2008年4月～映像制作会社に勤め、2015年2月～個人事業で映像制作を行っている						
授業の学習内容	スポーツの魅力を伝えていくためのツールのひとつとして、映像の可能性を学ぶ。また実際にあらゆる映像機器を使用し撮影・編集の知識と技術を身に付け、スポーツにおける映像の活用方法を探る。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な映像の知識と撮影手法・編集技術を身に付け、実践できる。 ・実際に映像を制作し、「伝える」ために大切な基礎基本と創意工夫の思考を身に着ける。 ・知識・技術を実生活でも活かすことができる。 						
評価方法と基準	<ol style="list-style-type: none"> 1) 出席状況 50% 2) 実技 30%(積極性や応用性) 3) 成果物 20%(知識技術が活かしているか) 						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	映像の基礎知識、映像カメラの種類、実生活における映像、スポーツにおける映像		TVやSNSを学んだ内容を通して見てみる等		
2		実習	映像カメラの基本操作、校内を撮影してみる		TVやSNSを学んだ内容を通して見てみる等		
3		講義	映像撮影の基本ルール		目にする映像をルールに沿って見てみる等		
4		実習	ルールを基にテーマを決めて学校を撮影		目にする映像をルールに沿って見てみる等		
5		講義	映像編集の基本ルール		目にする映像をルールに沿って見てみる等		
6		実習	ルールを基に撮影した映像を編集		目にする映像をルールに沿って見てみる等		
7		講義	特殊な映像機器(ジンバル等)の知識と映像の未来		スポーツで使用されている映像機器を調べてみる		
8		実習	ジンバルカメラでの撮影		スポーツで使用されている映像機器を調べてみる		
9		講義	「伝える」ための映像制作実習の下準備		実際に制作するためのインプット		
10		実習	「伝える」ための映像制作:撮影		実際に制作するためのインプット		
11		実習	「伝える」ための映像制作:撮影		実際に制作するためのインプット		
12		実習	「伝える」ための映像制作:編集		実際に制作するためのインプット		
13		実習	「伝える」ための映像制作:編集		実際に制作するためのインプット		
14		実習	「伝える」ための映像制作:編集		実際に制作するためのインプット		
15		講義	制作映像の上映会と講評・教員からの質問				
準備学習 時間外学習			基本的に講義・演習に生かすためのインプット作業のみ				
都度必要な情報をまとめたテキストを配布する予定							

科目名 (英)	テクノロジーⅡ (ドローンベーシックⅠ) (Drone basic Ⅰ)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	真島一平
	学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 火曜4限
教員の略歴	2008年4月～映像制作会社に勤め、2015年2月～個人事業で映像制作を行っている							
授業の学習内容	スポーツの魅力を伝えていくためのツールのひとつとして、映像の可能性を学ぶ。 その中で映像技術の最先端であるドローンの基礎知識と技術を身に付け、活用方法を探る。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なドローンの知識と使用方法を身に付け、実践できる。 実際にドローン撮影を行い、体感することで、自身が携わる未来への具体的な活用法を見出す。 ドローンの扱いを通して、実生活で様々なツールを活用する上での分別や注意力を身に付ける。 							
評価方法と基準	<ol style="list-style-type: none"> 出席状況 50% 実技 30%(積極性や応用性) 成果物 20%(知識技術が活かしているか) 							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ドローンの基礎知識、ドローンの種類、 実生活・スポーツにおけるドローン	YouTube等でドローン映像を見してみる
2		実習	ドローンの基本操作、校内広場で飛行	YouTube等でドローン映像を見してみる
3		実習	ドローンの基本操作、校内広場で飛行	YouTube等でドローン映像を見してみる
4		講義	飛行における注意点・危険性・許可等	ドローンの事故等を調べてみる
5		実習	ドローンの応用操作、校内広場で飛行	YouTube等でドローン映像を見してみる
6		実習	ドローンの応用操作、校内広場で飛行	YouTube等でドローン映像を見してみる
7		講義	スポーツ分野でのドローン・ カメラ機器について	スポーツで使用されている映像機器を調べてみる
8		実習	校内or校外でスポーツをドローンで撮影	スポーツで使用されている映像機器を調べてみる
9		講義	簡易的な編集技術の習得	実際に制作するためのインプット
10		実習	ドローンで映像を撮影	実際に制作するためのインプット
11		実習	ドローンで映像を撮影	実際に制作するためのインプット
12		実習	撮影したドローン映像を編集	実際に制作するためのインプット
13		実習	撮影したドローン映像を編集	実際に制作するためのインプット
14		実習	撮影したドローン映像を編集	実際に制作するためのインプット
15		講義	制作映像の上映会と講評・教員からの質問	
準備学習 時間外学習			基本的に講義・演習に生かすためのインプット作業のみ	
都度必要な情報をまとめたテキストを配布する予定				

科目名 (英)	イベント I (プレゼンテーションスキル I) (Presentation Skill I)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
	学科・コース	プロスポーツトレーナー	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 月曜1.2限
教員の略歴	2006年4月～20017年12月までフィットネスクラブに所属 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員							
授業の学習内 容	スポーツ関連のビジネスをする上で、相手を惹きつけるために必要な話し方について考えを深めていく。 あらゆるプレゼンテーションツールを各現場に合わせて魅力的なものに作成していくスキルを身につける。							
到達目標	1)プレゼンテーションのポイントについて説明できる 2)プレゼンテーション力について説明できる 3)他者のプレゼンテーションみて魅力的な方法について自分の考えを説明することができる 4)プレゼンテーションツールを活用し、プレゼンテーションすることができる 5)自分のプレゼンテーションについて振り返り、改善することができる							
評価方法と基準	1)課題提出・発表 100%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	プレゼンテーションとは	資料まとめ
2		演習	プレゼンテーションのポイント	資料まとめ
3		演習	プレゼンテーションのポイント	資料まとめ
4		演習	プレゼンテーション力	資料まとめ
5		演習	他者のプレゼンテーションと気づき	資料まとめ
6		演習	他者のプレゼンテーションと気づき	資料まとめ
7		演習	他者のプレゼンテーションと気づき	資料まとめ
8		演習	他者のプレゼンテーションと気づき	資料まとめ
9		演習	プレゼンテーション作成・実践・改善	資料まとめ
10		演習	プレゼンテーション作成・実践・改善	資料まとめ
11		演習	プレゼンテーション作成・実践・改善	資料まとめ
12		演習	プレゼンテーション作成・実践・改善	資料まとめ
13		演習	プレゼンテーション作成・実践・改善	資料まとめ
14		演習	プレゼンテーション作成・実践・改善	資料まとめ
15		演習	プレゼンテーション作成・実践・改善	資料まとめ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名 (英)	イベントⅠ (プレゼンテーションスキルⅡ) (Presentation Skill Ⅱ)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
	学科・コース	プロスポーツトレーナー	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 月曜1,2限
教員の略歴	2006年4月～20017年12月までフィットネスクラブに所属 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員							
授業の学習内容	スポーツ関連のビジネスをする上で、相手を惹きつけるために必要な話し方について考えを深めていく。あらゆるプレゼンテーションツールを各現場に合わせて魅力的なものに作成していくスキルを身につける。							
到達目標	1)他者のプレゼンテーションみて魅力的な方法について自分の考えを説明することができる 2)プレゼンテーションツールを活用し、プレゼンテーションすることができる 3)自分のプレゼンテーションについて振り返り、改善することができる							
評価方法と基準	1)課題提出・発表 100%							

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
2		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
3		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
4		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
5		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
6		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
7		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
8		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
9		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
10		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
11		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
12		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
13		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
14		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
15		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
準備学習		時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】					